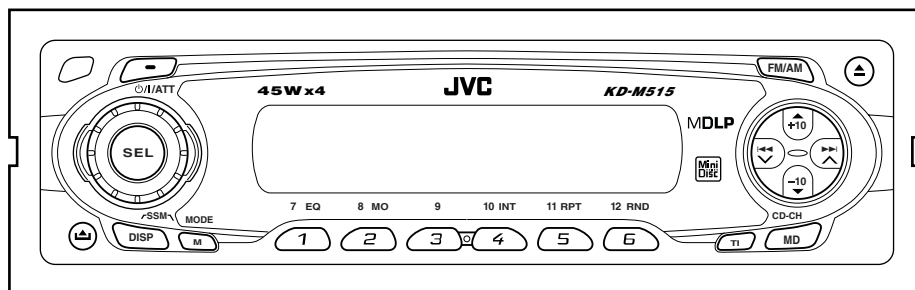


JVC

取扱説明書

MDレシーバー

型名 KD-M515



MDLP

— お買い上げありがとうございます —

 ご使用前に

この「取扱説明書」と別紙の「取付説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

GET0161-001C

イントロスキャン

聞きたい曲やCDが素早く探せます。曲の頭を15秒ずつ演奏していきます。聞きたい曲またはCDが見つかったら◀◀ボタンを押します。



・MODEボタンを押す。

・INTボタンを押してイントロスキャンのモードを選ぶ。



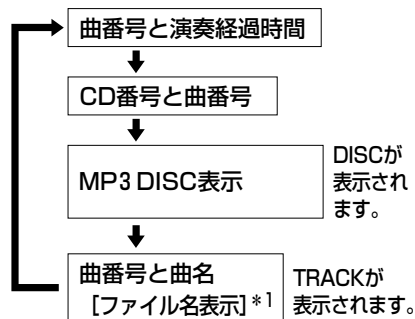
*MP3ディスクを演奏しているときのみ

CD演奏中の表示内容を変える



DISPボタンを押すと、表示内容を変えることができます。

●MP3 ディスクのID3 TAGがあるとき



DISCが表示されます。

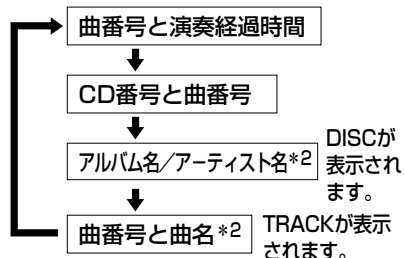
TRACKが表示されます。

*1 [] の表示は、ID3 TAGがないとき

〈お知らせ〉

- 表示できる文字は半角英数字のみです。その他の文字は正しく表示されません。半角カタカナおよび全角文字は_表示になります。

●CDテキストのとき



DISCが表示されます。

TRACKが表示されます。

*2 記録されていないときは、「No Name」が表示されます。

〈お知らせ〉

- 文字表示については、半角英数字が表示されます。漢字、全角文字および一部の記号などは表示されません。

安全上のご注意

—はじめにお読みください—

絵表示について

この取扱説明書には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。



- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、傷害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

●絵表示の説明

注意をうながす記号



一般的注意



指をはさまれないよう注意

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



水ぬれ禁止

行為を指示する記号



一般的指示

安全上のご注意(つづき) –はじめにお読みください–

警告

本機はDC12Vマイナスアース車専用です。



- ・大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災・故障の原因となります。

車内に飲みかけのパック飲料等を放置しない。



- ・カップホルダーの取付位置によっては、こぼれた飲料が本機の内部に入り発煙や発火・故障の原因となります。

事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管する。



- ・万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

コード類は、取付説明書または取扱説明書の指示に従い、運転操作の妨げとならないよう、まとめておく。



- ・ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。

車両電源配線用コード以外で延長しない。



- ・コードの被覆が破れ、ショート・発熱により火災となったり電源容量オーバーにより火災の原因となります。

音が出ないなどの故障や異常のままで使用しない。



- ・万一、故障や異常(異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど)が起こったら、すぐに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用する。



- ・規定容量以上のヒューズを使用すると、火災・故障の原因となります。

本機を分解したり、改造しない。



分解禁止

- ・事故・火災・感電・故障の原因となります。

自動車を運転中に音量調節等の操作をしない。



- ・このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

⚠ 注意

本機の通風孔や放熱板をふさがない。



- ・通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。

指定の電池以外は使用しない。



- ・電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する。



- ・車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

電池をリモコン内に挿入する場合は、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖)に注意し、内部の表示通りに入れる。



- ・間違えますと電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

ディスク挿入口に異物を入れない。



- ・火災や感電・故障の原因となることがあります。

ディスク挿入口に手や指を入れない。



- ・けがの原因となることがあります。

指をはさまれないよう注意

本機を車載用以外には使用しない。



- ・感電やけがの原因となることがあります。

使用上のご注意

●本機はDC12V、マイナスアース車専用です。大型トラックなどの24V車には使用できません。

●スピーカーはアンプの出力(1チャンネル当たり45W)に対し、入力に十分余裕のあるもの、インピーダンス4Ω～8Ωのものをお使いください。

●次のような場所は避けて取り付けてください。

- ・直射日光の当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける所など、温度が極端に高くなる場所
- ・雨が吹き込む所や水がかかったり、湿気が多い所
- ・ほこりの多い所

●安全運転のために…

- ・運転中は車外の音が聞こえる程度の音量に調節してお楽しみください。また**操作は、必ず安全な場所に停車させてから行ってください。**
- ・ステレオの音量は、お客様の心がけ次第で大きくも小さくもなります。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

●車内の温度は…

真夏の炎天下や冬期低温下で長時間駐車した後、MDを聞くときは、車内が常温に近くなるまでお待ちください。
(使用温度範囲：0℃～+40℃)

●LCD表示(表示窓)について

極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったりすることがあります。これはLCDの特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。

●バッテリーの過放電を防ぐため、エンジン停止中やアイドリング中は、大きな音量で長時間使用しないでください。

●結露(つゆつき)について

次のような場合、本機のレンズなどが結露してMDが正常に演奏できないことがあります。

- ・エアコン(暖房)を入れた直後
- ・湿気が多いとき

このようなときは、電源を入れたまま約1～2時間待ってからお使いください。

●海外での使用は…

本機は日本国内用です。海外での使用はできません。

●スピーカーコードの接続について

本機はBTL*回路方式を採用していますので、スピーカーの接続は必ず別冊の取付説明書の通りにしてください。

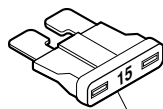
既設のスピーカーコード（スピーカーコード）を利用するとき、左右のスピーカーコードの⊖側が車の金属部に接続されていたり、⊖側同士が接続されていると故障の原因になります。

*BTL：Balanced Transformerless（バランスド トランスフォーマーレス）の略
2組のパワーアンプを互いに逆相で駆動し、比較的低い電圧で高出力が得られる回路方式のことです。

●ヒューズの交換について

本機のヒューズは15A(アンペア)です。交換してもすぐ切れるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

また、15Aを超えるヒューズは絶対に使用しないでください。



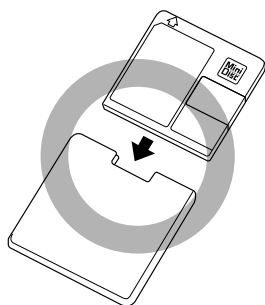
ヒューズ(15A)

●携帯電話を使用する場合は…

携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音が生じることがあります。できるだけ本機から離してお使いください。ただし、走行中は交通安全のため携帯電話を使用しないでください。

MDの取扱いについて

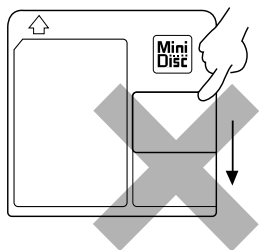
● MDを保管するときは



MDを本機から取り出して専用ケースに入れ、直射日光の当たる所やダッシュボードの上などは避けて保管してください。

MDが変形すると、故障の原因となります。

● MDのシャッターについて



MDのシャッターは、開けられないようになっています。無理に開けると、MDが破損する原因となります。

● MDにラベルを張ってお使いになる場合

ラベルは、はがれないように端の方までしっかりと張りつけてください。万一、ラベルエリアよりはみ出したり、はがれかかったままお使いになると、MDが取り出せなくなったり、故障の原因になることがあります。

● 長時間MDを使用しないときは、必ず本機から取り出しておいてください。

● 定期的にお手入れを

MDがほこりやゴミで汚れたときは、乾いたやわらかい布でふき取ってから使用してください。

各部の名前

—□の数字のページに説明があります。—

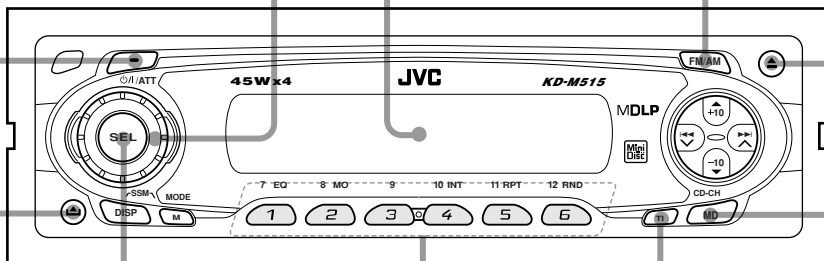
⏻/⏻(電源)/ATTボタン ^{アッテネーター} **12**
電源の「入」↔「切」ができます。

▲(MD取出し)ボタン
18 21

回転ボリューム **12 29 36**
音量調節や各種の設定ができます。

FM/AMボタン* **12 14**
ソース(音源)を「ラジオ」にしたりFMまたはAMの聞きたいバンドを選ぶことができます。

表示窓(ディスプレイ)



数字ボタン

- ・「MD」「CDチェンジャー」のとき：
1～12が機能します。**19 23 26**
- ・「ラジオ」のとき：
1～6が機能します。**15**

^{セレクト}
SELボタン **13 29 36**
音量・音質調節のモードが選べます。
2秒以上押しすと、時計合わせなどの各種設定モードになります。

^{トラフィックインフォメーション}
TIボタン* **16**
道路交通情報を聞くとき使います。

⏻(コントロールパネル取り外し)ボタン **38**

MD/CD-CHボタン* **12 21 22 26**
ソース(音源)を「MD」または「CDチェンジャー」にすることができます。

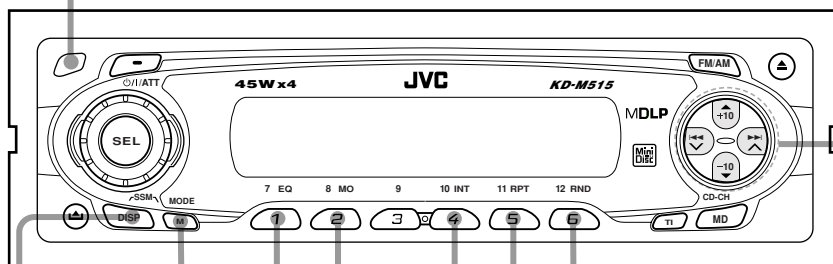
*印のボタンは電源を「入」にすることもできます。

◀◀、▶▶ボタン/選局ボタン(▽、△)/+10、-10ボタン/▲、▼ボタン
ソース(音源)によって働きが異なります。

ソース (音源)	「MD」「CDチェンジャー」	「ラジオ」
働 き	曲の頭出しや早送り、早戻しができます。 ⑮ ⑲ ⑳ 「MD」の場合、▲(または▼)ボタンを押すと、グループスキップができます。⑲ 「MP3チェンジャー」の場合、▲(または▼)ボタンを押すと、次または前のフォルダにスキップすることができます。㉓	放送局を選局するとき使います(オート選局/マニュアル選局)。⑭ ▲(または▼)ボタンはプリセット選局ができます。⑮

リモコン受光部 ⑩

別売りのリモコン(RM-RK41J)の
信号をここで受信します。



MODEボタン

数字ボタンの働きを一時的
に変えることができます。

⑭ ⑮ ⑲ ⑳ ㉓ ㉔

数字ボタン(MODEボタンを押したあとの働き)

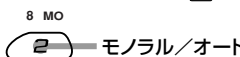
「MODE」表示が点灯中に操作します。

- 「MD」「CDチェンジャー」のとき：⑳ ㉔ ㉔



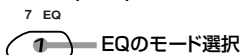
④ イントロ スキャン
⑤ リピート 演奏
⑥ ランダム 演奏

- 「ラジオ」のとき：⑮



② モノラル/オート受信の切換(FM放送のときのみ)

- ソース(音源)に関係なく ㉔



① EQのモード選択

ディスプレイ

DISPボタン

⑭ ⑮ ⑲ ⑳ ㉓ ㉔

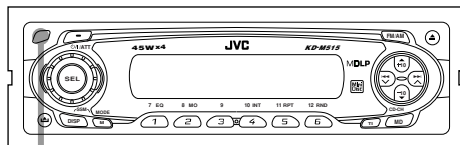
メモリー

SSM機能を使って放送局をメモリーするときは、MODEボタンと同時に2秒以上押します。

リモコン(RM-RK41J:別売り)の使いかた

リモコンの使いかた

- リモコン受光部に正しく向けてボタンを押します。
- 操作範囲は受光部正面より約±30°の範囲ですが、斜めから操作すると受信しにくくなります。
- 受光部に直射日光などの強い光が当たらないようにしてください。また受光部の前に障害物を置かないでください。(動作しないことがあります)
- リモコンに付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池(CR 2025:市販品)と交換してください。



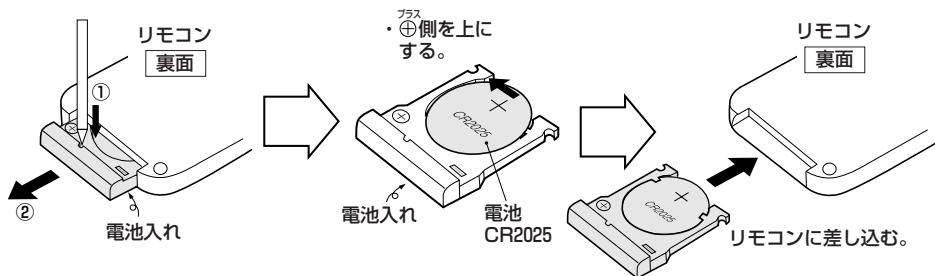
リモコン受光部

ご注意

- 長時間直射日光が当たる場所(ダッシュボードの上など)に、リモコンを置かないでください。変形や故障の原因となります。

電池の入れかた

ボールペンなどを電池入れの溝に入れて引き出す。



● 電池の交換時期(目安)は…

リモコン操作のできる距離が短くなったり、動作が不安定になってきたときは、電池が消耗しています。新しい電池と交換してください。

使用済みの電池は、廃棄しないでリサイクル協力店にお持ちください。

各部の名前

⏻/(電源)/ATTボタン

1秒以上押し続けると電源の「入」↔「切」ができます。「ポン」と押し続けると音量を一時的に下げることができます。

SOUNDボタン

EQパターンがダイレクトに選べます。

ディスク BAND DISC+/BAND ボタン

- ・「ラジオ」のとき：バンドが選べます。
- ・「CDチェンジャー」のとき：CDが選べます。
(プログラム PROGの機能はありません)

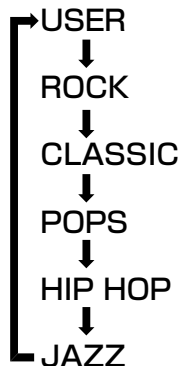
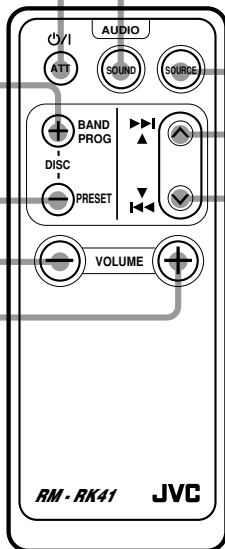
プリセット DISC-/PRESET ボタン

- ・「ラジオ」のとき：プリセットしてある放送局(1ch～6ch)の選局ができます。プリセット選局になります。
- ・「CDチェンジャー」のとき：CDが選べます。

ボリューム VOLUME+、-(音量)ボタン

音量の調節ができます。

- ・+：音量が上がります。
- ・-：音量が下がります。



ソース SOURCEボタン

ソース(音源)を選ぶとき使います。



と変わります。ただし本体にMDが入っていないか、CDチェンジャーが接続されていないときはラジオ(FMまたはAM)のみになります。

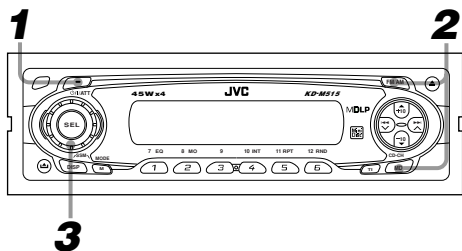
▶▶/△、◀◀/▽ボタン

- ・「ラジオ」のとき：オート選局(SEEK)ができます。
- ・「MD」と「CDチェンジャー」のとき：曲(ファイル)の頭出しや早送り、早戻しができます。
(▲と▽の機能はありません)

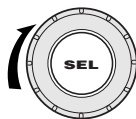
基本操作

準備

- 車のエンジンをかける。本機は、エンジンキーが「OFF」またはACC「OFF」の状態では電源を入れることができません。



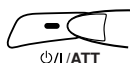
3 回して音量を調節する



- ・調節範囲
VOLUME 00 ~ VOLUME 50
(初期設定 VOLUME 15)

- 音量を一時的に下げる
Ⓛ/ATT (電源)/ATT ボタンを「ポン」と押すと、「ATT」が点滅表示され音量が下がります。もう一度押すと元の音量に戻ります。

●電源を「切」にする



- Ⓛ/ATT (電源)/ATT ボタンを1秒以上押します。「SEE YOU」が表示され電源が切れます。

●車のエンジンキーが「OFF」のときでも次のボタンは、操作できます。

- ・▲ (MD取出し) ボタン… MDの出し入れ
- ・DISP ボタン… 5秒間時計表示

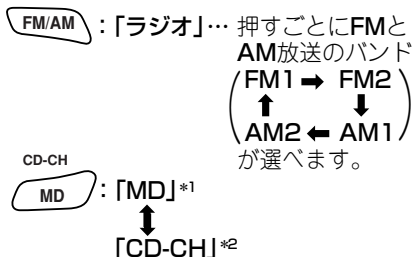
ただし、電源を入れることはできません。

1 を押して電源を入れる



- ・「WELCOME!...JVC」が表示され、電源を切る前のソース(音源)…お買い上げ時はFM1…が表示されます。

2 ソース(音源)を選ぶ



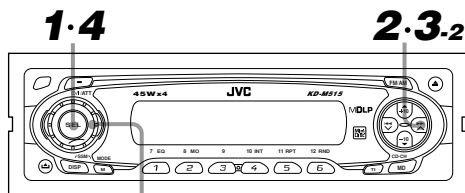
- * 1 本機にMDが入っているときのみ
- * 2 CDチェンジャーが接続されているときのみ

- これらのボタンは、ダイレクトソース 切換機能のほかに電源を「入」することもできます。

〈お知らせ〉

- 「CD-CH」は、ソース(音源)を外入力に切換えると「LINE INPUT」になります。
→ 33 ページ参照
- ▲ (MD取出し) ボタンは、電源「切」のときも操作できますがソース(音源)は切換わりません。
- 音量・音質の調節は 36 ~ 37 ページをご覧ください。

時計を合わせる



3-1・3-3

1 SEL を2秒以上押す

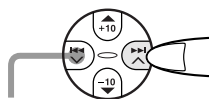


- ・お買い上げ時は「CLOCK HOUR」が表示されます。⇒手順3へ進む
- ・これ以外のときは、選ばれているモードが表示されます。

・2秒以上押す。

15秒以内に

2 (または) を数回押して「CLOCK HOUR」を選ぶ



逆へ選べます。

→ CLOCK HOUR

15秒以内に

3 SEL と で現在時刻に合わせる

例：7時30分に合わせる
(12時間表示方式です)

3-1 「時」を7に合わせる



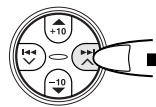
「時」を戻す 「時」を進める

「時」表示



1秒ごとに点滅

3-2 「CLOCK MIN」を選び…



3-3 「分」を30に合わせる



「分」を戻す 「分」を進める

15秒以内に

4 SEL を押す

- ・元のソース(音源)の表示に戻ります。SELボタンを押さないときは、15秒後に元のソース(音源)の表示に戻ります。

〈お知らせ〉

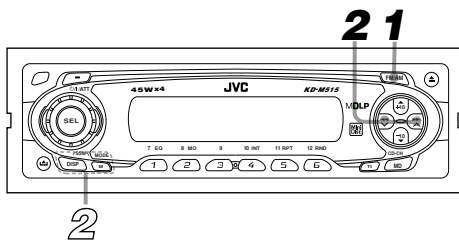
- 本機の時計は、月に1分程度のズレを生じることがあります。
- 時刻を合わせ直すときも手順1~4の操作をします。
- SELボタンを使ってその他の設定を変更したいときは、29~33ページをご覧ください。

ラジオを聞く

1 FM/AM を押してバンドを選ぶ

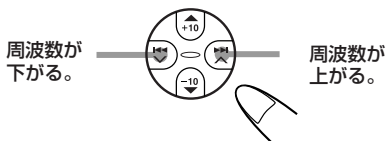


・押すごとに
FM1 → FM2
AM2 ← AM1
 と選べます。



放送局を選ぶ

2 (←) (または →) を押して選局する

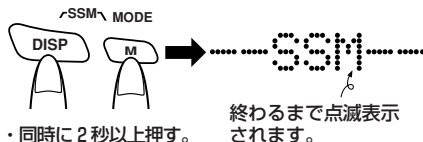


- **オート選局**：「ポン」と押して離す。
 (シーク) 本機が自動で放送局を探し、受信すると停止します。
- **マニュアル選局**：1秒以上押して「M」を点滅表示させたあと、「ポン・ポン」と押して選局する。
 ・FMは0.1MHz、AMは9kHzずつ変わり、押し続けると連続して変わります。

放送局を自動でメモリー(記憶)させる

—SSM(ストロングステーションメモリー)機能—

2 DISP と MODE を同時に2秒以上押す



- ・同時に2秒以上押す。
- 本機が自動で電波の強い放送局を数字ボタンの **1** ~ **6** にメモリーしていきます。
- メモリーし終わると数字ボタン **1** に記憶された放送局が表示されます。
- バンドごとに6局ずつメモリーされます。

〈お知らせ〉

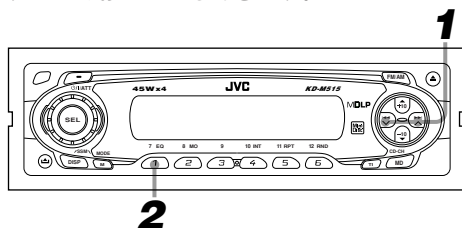
- ソース(音源)を「ラジオ」にするとFM放送は **FM1** または **FM2**、AM放送は **AM1** または **AM2** が表示されます。
- 受信状態が悪いと、オート選局が自動停止しないことがあります。
- マニュアル選局のモードは、選局の操作から5秒後に自動で解除されます。
- AM放送はモノラル受信です。

〈お知らせ〉

- SSM機能を使うと、すでにそのバンドにメモリーしてあった放送局は取り消されます。
- 放送局が6局より少ないときは、前のメモリー内容が残ります。
- 受信状態が悪いと、うまくメモリーされないことがあります。よく受信できる所に移動してから操作してください。
- 放送を聞くときは、プリセット選局が利用できます。→10ページ参照

放送局を選んでメモリー(記憶)させる

SSM機能を使って自動でメモリーされるほかに、放送局を選んでから数字ボタンにメモリーしておくこともできます。



例：FM放送の81.3MHzを **1** ボタンにメモリーする

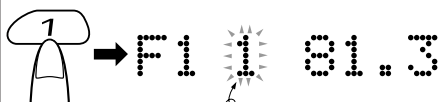
1

(**▲**) (または **▼**) でFM81.3 MHzを選局する

→14ページの「オート選局またはマニュアル選局」参照

2

数字ボタンの **1** を2秒以上押す



・2秒以上押す。
押した数字ボタンと同じ数字が表示されると、メモリーされます。これをマニュアルプリセットといいます。

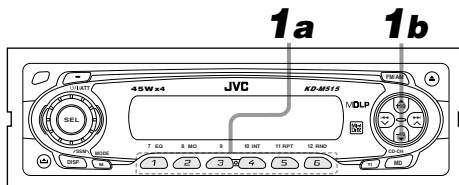
- 数字ボタンのメモリー順を変えたり、新しい放送局を追加するときなどに使うと便利です。

〈お知らせ〉

- この操作はSSM機能で放送局をメモリーした後にしてください。あとからSSM機能を利用すると、取り消されることがあります。
- 数字ボタンは必ず2秒以上押し続けてください。短いとメモリーされません。

放送局を呼び出す(プリセット選局)

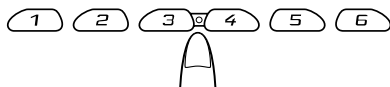
数字ボタン(1~6)にメモリー(記憶)されている放送局がワンタッチで選局できます。



1a

数字ボタン(1~6)を押して選局する

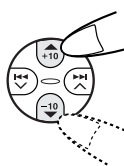
(プリセット選局といいます)



- 数字ボタン(1~6)にメモリー(記憶)されている放送局がワンタッチで選局できます。
(数字ボタンは2秒以上押し続けないでください)

1b

(**▲+10**) (または **▼-10**) を押して選局する



P1→P2……→P6

の順に選局できます。

P6→P5……→P1

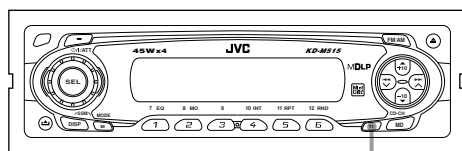
の順に選局できます。

ご注意

- バッテリー交換などで本機への電源が途切れると、メモリー(記憶)した放送局は取り消されます。また時計表示は1:00に戻ります。電源を接続したらもう一度設定し直してください。

ラジオを聞く(つづき)

道路交通情報を聞く



1 TI を押す



TI → TI 1620kHz

高速道路などの特定地域では、AM1620kHzで道路交通情報を聞くことができます。聞きたいところでTI*ボタンを押すと、ソース(音源)に関係なく1620kHzが受信できます。TIが表示窓に表示されます。

- このモードのときはボリュームが独立しております。もう一度押すと元のソース(音源)に戻り、音量も元に戻ります。
- AM1629kHzで道路交通情報を行っている地域のとき
AM1620kHz受信中に(→) (または ←) を押すと、AM1629kHzが受信できます。もう一度(→) (または ←) を押すと、AM1620kHzの受信に戻ります。

*TIとは…

トラフィック インフォメーション
Traffic Information(交通情報)の略です。

FM放送が雑音で聞きにくいときは

FMステレオ放送受信時に、電波状態が悪くて雑音が多いときは、FM放送を「MONO OFF」に切換えます。



・表示窓のMODE表示が消える前に操作します。

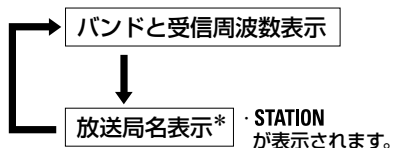


表示窓に「MO」が表示され、モノラル受信モードになり聞きやすくなります。電波状態が良くなったらもう一度同じ操作で「MONO OFF」に切換えます。FMステレオ放送を受信すると「ST」が表示されます。

放送受信中の表示内容を変える



DISPボタンを押すと、表示内容を変えることができます。



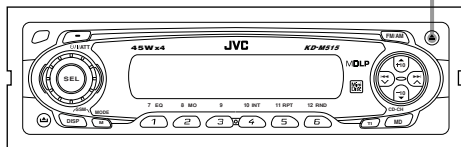
* 「放送局名を自動で表示させる」の操作(⇒⑧ページ参照)をすると表示されます。ご利用の地域を設定する前は「No Name」が表示されます。なお、放送局名はスクロール表示されません。

アンテナリモートについて

- 電動アンテナ装備車およびアンテナプースター装備車の場合は、アンテナコントロール電源コードを車両側の対応する端子(アンテナコントロール)に接続してください。ソース(音源)を“ラジオ”にすると自動的にアンテナ(プースター)側に電源が供給されます。“MD”にソース(音源)を切換えると、自動的にアンテナ側への電源が切れます。

(アンテナコントロール電源コードの最大コントロール電流は250mAです)

MDを聞く

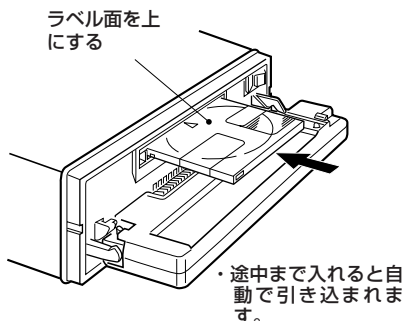


1 ▲を押す



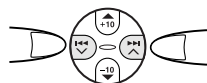
・コントロールパネルが開いてMDの挿入口が現われます。

2 MDを入れ、コントロールパネルを閉める⇒ソース(音源)が「MD」になり演奏スタート



- ・パネルを開けた直後は、MDのデータを読み込んでいます。終わると曲番号と演奏経過時間表示が変わり、1曲目から演奏がスタートします。
- ・MDが入っていることを表す▲とソース(音源)を表すMDが表示されます。

- MD演奏中に電源を切ったときは電源を入れると、自動的に演奏がスタートします。



曲の頭出し(スキップ)

- ▶▶ : 押すごとに次の曲の頭に移ります。
- ◀◀ : 演奏中の曲の頭に戻ります。押すごとに前の曲の頭に戻ります。

早送り・早戻し(サーチ)

- ▶▶ : 押し続けている間早送りされます。
 - ◀◀ : 押し続けている間早戻しされます。
- 演奏中の音が小さく聞こえ、指を離すと普通の演奏に戻ります。

MDを挿入するときは

- 故障を防止するため次のことを確認してください。
 - ・ラベル面を上にする。
 - ・挿入方向を表す◀や▶の表示に従って本体に入れる。
 - ・無理に押し込まない。(途中で入れると自動で引き込まれます)
 - ・ラベルのはがれかかったMDは使用しない。

長時間ステレオ再生について

本機はMDLPに対応しています。音声データを高精度圧縮技術ATRAC 3で録音済みのMDの場合、LP 4モードは最長320分、LP 2モードは最長160分の長時間ステレオ再生が可能です(MD80使用時)。LP 2またはLP 4で録音したMDを演奏すると、表示窓に「LP 2」または「LP 4」が表示されます。MDLPに対応していないMDレコーダーで録音したMDは、SPを表示しませんが標準モードで再生されます。

グループ機能について

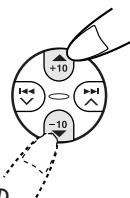
ミニコンボなどでステレオ長時間録音(MDLP)するとき、収録曲をCDごとやアーティストごとなど、いくつかのグループに分けておくと素早く選曲できます。

・グループごとに録音した例

グループ1			グループ2			グループ3	
曲番号			曲番号			曲番号	
1	2	3	4	5	6	7	8

●聞きたいグループを選ぶ

▲(または▼)ボタンを押すと、選んだグループの頭の曲から聞くことができます。これをグループスキップといいます。



次のグループの頭へ移る。
例えば、グループ1を演奏中に▲ボタンを押すと、グループ2の曲番号4の頭にスキップします。

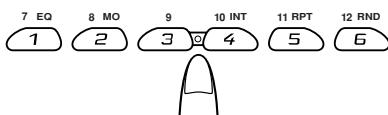
今のグループの頭に戻る。
押すごとに前のグループの頭に戻る。

<お知らせ>

- モノラル2倍長録音したMDは、自動的にモノラルで再生されます。
- データ用MDについて
データ用MDは使用できません。音楽用のMDを使用してください。

ダイレクト演奏

演奏中に別の曲がダイレクトに選べます。

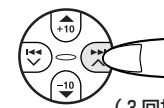


- ・1～6曲目
数字ボタンを「ポン」と押します。
例：3曲目のとき
9
- ・7～12曲目
数字ボタンを1秒以上押します。
例：12曲目のとき
12 RND
- ・1秒以上押す。



- ・13曲目以上は
▶▶ボタンを併用します。

例：15曲目
12 RND



(3回押し)

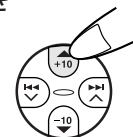
- ・1秒以上押す。

またMODEボタンと+10(または-10)ボタンを使うと、10曲ずつダイレクトに選べます。

例：32曲入りMDのとき



5秒以内に



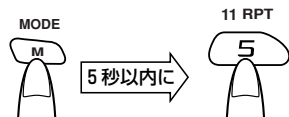
01 → 10 → 20 → 30 → 32

- ・MODEボタンを押したあと+10ボタンを押すと、このような頭出しができます。-10ボタンを押すと、逆に選べます。
- ・曲数が10曲に足りないときは、最後の曲が選ばれます。
- ・+10ボタン(または-10ボタン)をくり返して押すときは、2秒以上間隔を空けないで押してください。

MDを聞く(つづき)

リピート演奏(くり返し演奏)

演奏中の曲をくり返して聞くことができます。



・MODEボタンを押す。

・RPTボタンを押してリピート演奏のモードを選ぶ。



*グループ分けされているMDに限り表示されます。

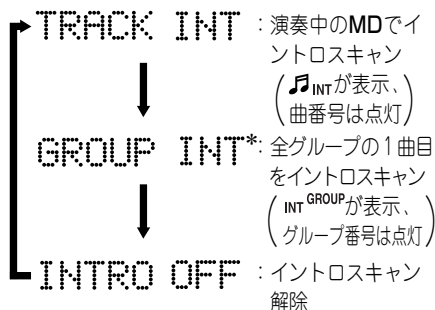
イントロスキャン

聞きたい曲が素早く探せます。曲の頭を15秒ずつ演奏していきます。聞きたい曲が見つかったら◀◀ボタンを押します。



・MODEボタンを押す。

・INTボタンを押してイントロスキャンのモードを選ぶ。

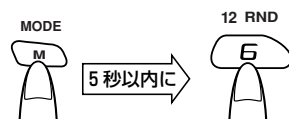


●一通りイントロスキャンが終わると解除されます。

*グループ分けされているMDに限り表示されます。

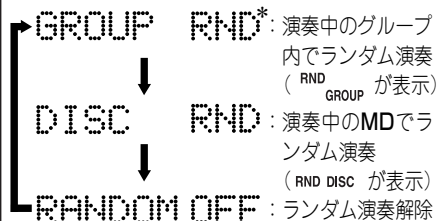
ランダム演奏

MDの収録順に関係なく、ランダム(無作為)な順番で聞くことができます。



・MODEボタンを押す。

・RNDボタンを押してランダム演奏のモードを選ぶ。

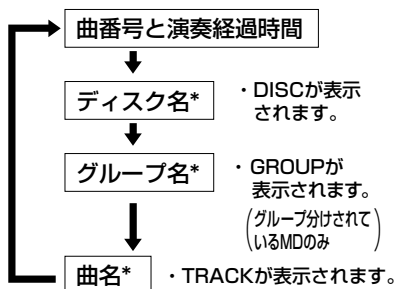


*グループ分けされているMDに限り表示されます。

MD演奏中の表示内容を変える



DISPボタンを「ポン・ポン」と押し、表示内容を変えることができます。



*記録されていないMDでは「No Name」表示になります。

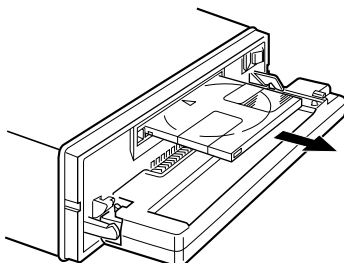
〈お知らせ〉

- ディスク名やグループ名、曲名は半角の英数字、カタカナ、記号がスクロール表示されます。DISPボタンを1秒以上押したときもスクロール表示されます。また曲名がスクロール表示されるとき、曲番号も表示されます。グループ名がスクロール表示されるとき、グループ番号(G01など)も表示されます。
- スクロール表示は、自動で1回スクロールする状態：SCRL ONCE(お買い上げ時の状態)になっています。SCRL AUTO(自動)またはOFF(切)に変えることもできます。→ 22 ページ参照
- 文字表示については、英数字・カタカナなどの半角文字が表示されます。漢字、全角文字または一部の記号などは表示されません。

MDを取り出す



▲(MD取出し)ボタンを押します。コントロールパネルが開いてMDが出てきます。MDを入れる前のソース(音源)に戻ります。



〈お知らせ〉

- エンジンキーが「OFF」のときでもMDは取り出せます。この場合、MDが出てきたあと電源が切れます。

MDの盗難防止

MDを他の人が取り出せないようにすることができます。

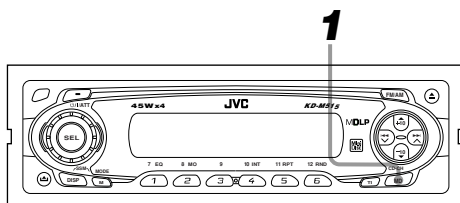


- 「NO EJECT」が点滅表示され、MDの取り出しができなくなります。もう一度同じ操作をすると「EJECT OK」が点滅表示され、MDが出てきます。

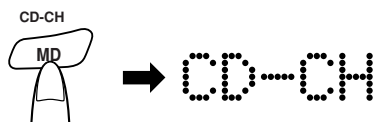
MP3チェンジャー(別売り)のCDを聞く

- 準備** ●MP3チェンジャー内のマガジンに聞きたいCDを入れておきます。

全曲演奏 (全CDのくり返し演奏)

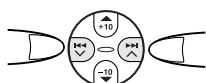


1 **CD-CH** **MD** を押してソース(音源)を「CD-CH」にする



・ソース(音源)が「CDチェンジャー」になり「CD 1 - F 01」表示のあと、「曲名表示→曲番号と演奏経過時間」の表示に変わり演奏がスタートします。

- ソース(音源)を表す **CD-CH** と ●MP3● が表示されます。
- MP3チェンジャー演奏中に電源を「切」にしたときは、止まったときのCDから演奏がスタートします。
⋮
- 最初のCDの演奏が終わると、自動で次のCDの演奏になります。マガジン内の全CDのくり返し演奏になります。



ファイルの頭出し (スキップ)	<p>▶▶ : 押すごとに次のファイルの頭に移ります。</p> <p>◀◀ : 演奏中のファイルの頭に戻ります。押すごとに前のファイルの頭に戻ります。</p>
早送り・早戻し (サーチ)	<p>▶▶ : 押し続けている間早送りされます。</p> <p>◀◀ : 押し続けている間早戻しされます。</p> <p>演奏中の音が小さく聞こえ、指を離すと普通の演奏に戻ります。</p>

●本機でコントロールできるチェンジャーについて

CH-MPシリーズのMP3チェンジャーをお勧めします。CH-X99を除くCH-XシリーズのCDチェンジャーのコントロールもできます。ただし、KD-MKシリーズのCDチェンジャーは、コントロールできません。

●演奏を途中でやめる

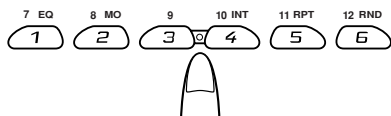
FM/AMボタンなどを押して他のソース(音源)に切換えます。または電源を「切」にします。

〈お知らせ〉

- 多くの階層を持つディスクやCD-RWに記録したディスク、マルチセッションディスクでは再生が始まるまで時間がかかります。
- 階層化したフォルダのあるディスクは、8階層まで再生できます。
- 音楽用CDを聞くときの使いかたは⑳～㉓ページをご覧ください。

数字ボタンでCDを選ぶ

聞きたいCDが数字ボタンでダイレクトに選べます。選んだCDの1曲目から聞けます。



・ 1～6枚目

数字ボタンを「ポン」と押します。

例：3枚目のとき



・ 7～12枚目

数字ボタンを1秒以上押します。

例：12枚目のとき

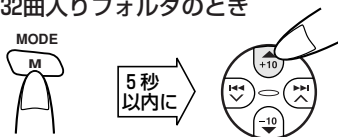


・ 1秒以上押す。

フォルダを選ぶ

MODEボタンと+10(または-10)ボタンを使うと、フォルダ内で10曲ずつダイレクトに選べます。

例：32曲入りフォルダのとき



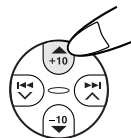
01 → 10 → 20 → 30 → 32

・ MODEボタンを押したあと+10ボタンを押すと、このような頭出しができます。-10ボタンを押すと、逆に選べます。

〈お知らせ〉

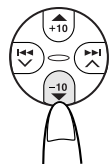
- 曲数が10曲に足りないときは、最後の曲が選ばれます。
- +10ボタン(または-10ボタン)をくり返して押すときは、2秒以上間隔を空けないで押してください。

次または前のフォルダにスキップする



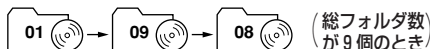
▲、▼ボタンの▲側を押すと、押すごとに、次のMP3を含むフォルダにスキップします。

例：MP3ファイルのフォルダ3を演奏中のとき

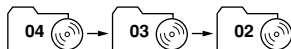


▲、▼ボタンの▼側を押すと、押すごとに、前のMP3を含むフォルダにスキップします。

例：MP3ファイルのフォルダ1を演奏中のとき



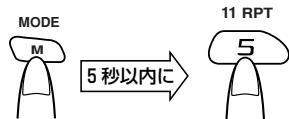
例：MP3ファイルのフォルダ4を演奏中のとき



MP3チェンジャー(別売り)のCDを聞く(つづき)

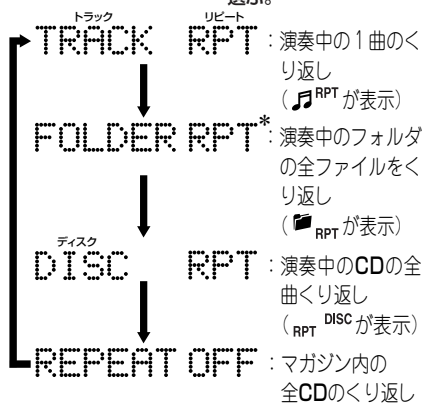
リピート演奏(くり返し演奏)

演奏中の曲をくり返して聞くことができます。



・MODEボタンを押す。

・RPTボタンを押してランダム演奏のモードを選ぶ。



*MP3ディスクを演奏しているときのみ

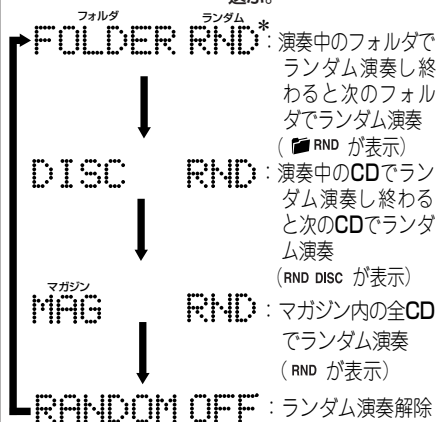
ランダム演奏

CDの収録順に関係なく、ランダム(無作為)な順番で聞くことができます。



・MODEボタンを押す。

・RPTボタンを押してリピート演奏のモードを選ぶ。



*MP3ディスクを演奏しているときのみ

イントロスキャン

聞きたい曲やCDが素早く探せます。曲の頭を15秒ずつ演奏していきます。聞きたい曲またはCDが見つかったら◀◀ボタンを押します。



・MODEボタンを押す。

・INTボタンを押してイントロスキャンのモードを選ぶ。



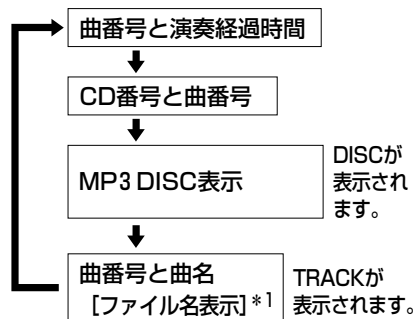
*MP3ディスクを演奏しているときのみ

CD演奏中の表示内容を変える



DISPボタンを押すと、表示内容を変えることができます。

●MP3 ディスクのID3 TAGがあるとき

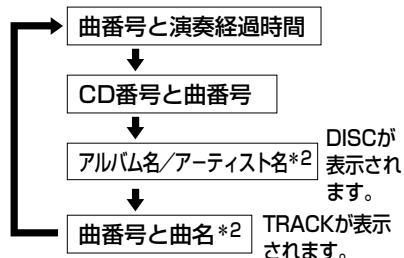


*1 [] の表示は、ID3 TAGがないとき

〈お知らせ〉

- 表示できる文字は半角英数字のみです。その他の文字は正しく表示されません。半角カタカナおよび全角文字は_表示になります。

●CDテキストのとき



*2 記録されていないときは、「No Name」が表示されます。

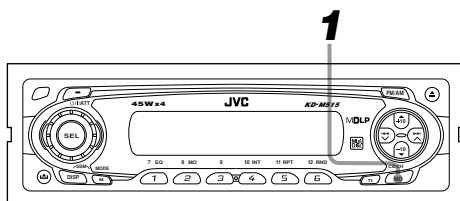
〈お知らせ〉

- 文字表示については、半角英数字が表示されます。漢字、全角文字および一部の記号などは表示されません。

CDチェンジャー(別売り)のCDを聞く

- 準備** ● CDチェンジャー内のマガジンに聞きたいCDを入れておきます。

全曲演奏 (全CDのくり返し演奏)



1 **CD-CH** を押を押してソース(音源)を「CD-CH」にする

CD-CH



- ソース(音源)が「CDチェンジャー」になり全曲演奏がスタートします。
ソース(音源)を表す **CD-CH** が表示されます。

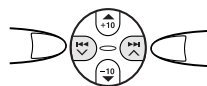
- CDチェンジャー演奏中に電源を「切」にしたときは、止まったときのCDから演奏がスタートします。

⋮

- 最初のCDの演奏が終わると、自動で次のCDの演奏になります。
マガジン内の全CDのくり返し演奏になります。

● 演奏を途中でやめる

FM/AMボタンを押して他のソース(音源)に切換えます。
または電源を「切」にします。



曲の頭出し
(スキップ)

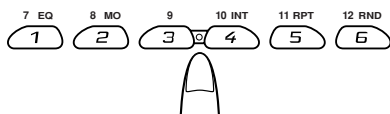
- ▶▶ : 押すごとに次の曲の頭に移ります。
- ◀◀ : 演奏中の曲の頭に戻ります。押すごとに前の曲の頭に戻ります。

早送り・
早戻し
(サーチ)

- ▶▶ : 押し続けている間早送りされます。
- ◀◀ : 押し続けている間早戻しされます。
演奏中の音が小さく聞こえ、指を離すと普通の演奏に戻ります。

数字ボタンでCDを選ぶ

聞きたいCDが数字ボタンでダイレクトに選べます。選んだCDの1曲目から聞けます。



● 1～6 枚目

数字ボタンを「ポン」と押します。

例：3 枚目のとき



● 7～12枚目

数字ボタンを1秒以上押します。

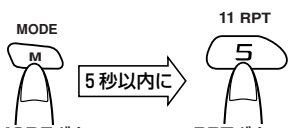
例：12枚目のとき



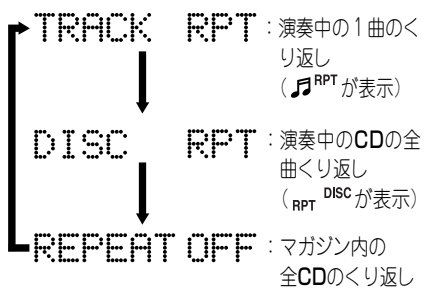
- 1秒以上押す。

リピート演奏(くり返し演奏)

演奏中の曲をくり返して聞くことができます。

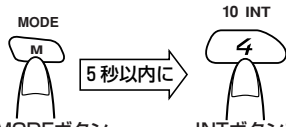


- ・MODEボタンを押す。
- ・RPTボタンを押してリピート演奏のモードを選ぶ。

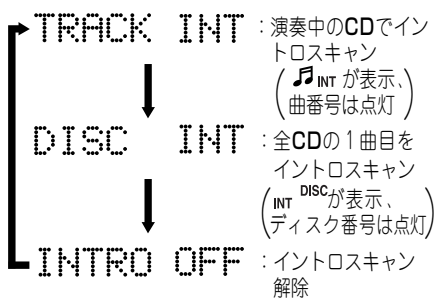


イントロスキャン

聞きたい曲やCDが素早く探せます。曲の頭を15秒ずつ演奏していきます。聞きたい曲またはCDが見つかったら◀◀◀ボタンを押します。

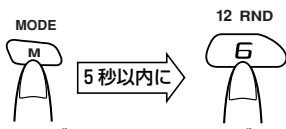


- ・MODEボタンを押す。
- ・INTボタンを押してイントロスキャンのモードを選ぶ。

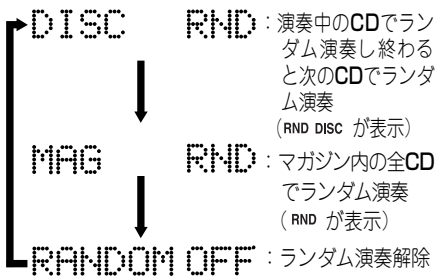


ランダム演奏

CDの収録順に関係なく、ランダム(無作為)な順番で聞くことができます。



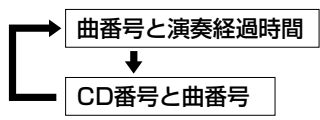
- ・MODEボタンを押す。
- ・RNDボタンを押してランダム演奏のモードを選ぶ。



CD演奏中の表示内容を変える



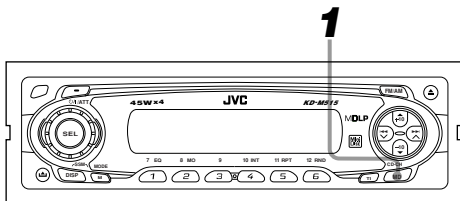
DISPボタンを押すと、表示内容を変えることができます。



他の機器の音を聞く

準備

- 変換コード：KS-U57(別売り)を使ってCDチェンジャー端子にカーAV機器を接続しておきます。→別紙の取付説明書参照
- CD-CHのソース(音源)を「LINE INPUT」に切換えておきます。
→33ページ参照



1 CD-CH
MD を押して
ソース(音源)を「LINE INPUT
(外部入力)」にする

CD-CH→



EXT
↓
LINE INPUT

2 接続した機器を演奏状態にする


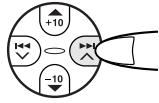

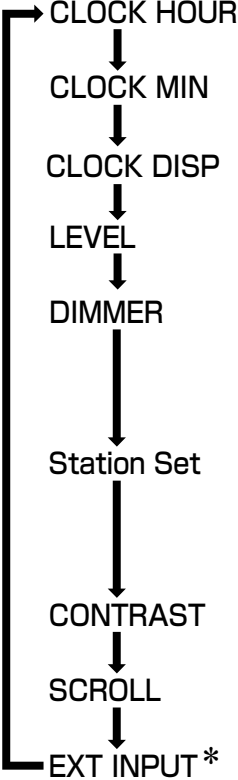
- ・接続した機器に音量調節があるときは、MDなどの演奏音と同じ程度に聞こえるように調節してください。

〈お知らせ〉

- 接続ができる他の機器は、RCAの2チャンネル出力端子付のものを用意してください。接続する機器の取扱説明書をよくお読みになり、正しく配線してください。
- すでにCDチェンジャーを接続しているときは、ご利用になれません。

SELボタンを使って設定を変える

• SELボタンのモード一覧

1 SELボタンを2秒以上押す 	2 ►► (または ◀◀) ボタンでモードを選ぶ 	3 回転ボリュームで設定する 	参 照 ページ	
 <pre>graph TD A[CLOCK HOUR] --> B[CLOCK MIN] B --> C[CLOCK DISP] C --> D[LEVEL] D --> E[DIMMER] E --> F[Station Set] F --> G[CONTRAST] G --> H[SCROLL] H --> I[EXT INPUT*] I --> A</pre>	初期設定値	1 → 12 → 11 → ……	1 → 2 → 3 → ……	13
	1 : 00	00 → 59 → 58 → ……	00 → 01 → 02 → ……	
	CLOCK OFF	CLOCK OFF	CLOCK ON	30
	LEVEL 2	LEVEL 1 ← → LEVEL 2 ↓ ↑ LEVEL OFF ← →		30
	DIM AUTO	DIM AUTO ← → DIM OFF ↓ ↑ DIM ON ← →		31
	エリア ナシ	エリア ナシ ↔ ホッカイドウ ↔ トウホク ↓ ↓ オキナワ カントウ ↓ ↓ キュウシュウ チュウブ ↓ ↓ シコク ↔ チュウゴク ↔ キンキ		31
	CONTRAST 5	CONTRAST 1 ~ CONTRAST 10		32
	SCRL ONCE	SCRL ONCE ← → SCRL AUTO ↓ ↑ SCRL OFF ← →		32
	CD CHANGER	CD CHANGER	LINE INPUT	33

*現在のソース(音源)が「CD-CH」または「LINE IN」のときは表示されません。

〈お知らせ〉

- ◀◀ ボタンを押すとSELボタンのモードは逆に選べます。
- 各操作は、15秒以上間隔を空けないでください。
- 設定ができたあとは、SELボタンを押して終了します。
- SELボタンを押さないときは、15秒後に自動で終了します。
- バッテリー交換などで本機への電源が途切れると、設定した内容は初期設定に戻ります。

他の機器の音を聞く・SELボタンを使って設定を変える

SELボタンを使って設定を変える(つづき)

電源「切」のとき時計を表示させる

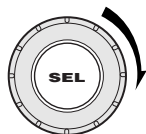
本機を電源「切」にしたとき、表示窓に時計を表示させることができます。

1 SEL を 2 秒以上押す



2 (時計) (または) (ディスプレイ) を数回押して「CLOCK DISP」を選ぶ

3 SEL を右方向に回して「CLOCK ON」にする



・「CLOCK OFF」に戻すときは、左方向に回します。

4 SELボタンを押す

・元のソース(音源)の表示に戻ります。

レベルメーターの表示切換

表示窓右側のレベルメーターの表示を切換えることができます。

1 SEL を 2 秒以上押す



2 (時計) (または) (ディスプレイ) を数回押して「LEVEL」を選ぶ

3 SEL を右方向に回してメーター表示を選ぶ



・左方向に回すと逆を選びます。

LEVEL 1 : 通常のレベルメーター (音量に応じて点灯します)
LEVEL 2 : 一定時間ごとにシャワーになります。(お買い上げ時の状態)
LEVEL OFF: レベルメーターは表示されません。

4 SELボタンを押す

・元のソース(音源)の表示に戻ります。

〈お知らせ〉

- 車のエンジンキーが「オフ」でも、本機の電源が「切」にならない車種のときは、「CLOCK ON」に設定しないでください。バッテリーを消耗する原因となります。

表示窓の明るさを変える

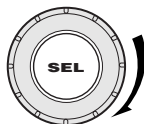
表示窓の明るさを状況に応じて変えることができます。

1 SEL を 2 秒以上押す

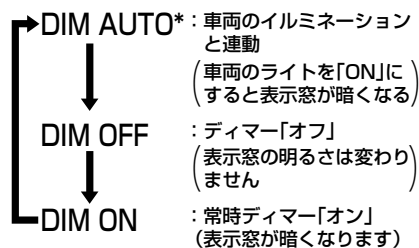


2 (↑) (または ↓) を数回押して「DIMMER」を選ぶ

3 SEL を右方向に回してディマーマーのモードを選ぶ



・左方向に回すと逆逆に選べます。



*「DIM AUTO」で使うときは、本機のイルミネーションコードを車両のイルミ電源に接続しておきます。

4 SELボタンを押す

・元のソース(音源)の表示に戻ります。

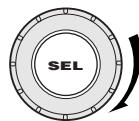
放送局名を自動で表示させる

ご利用になる地域の放送局を受信したとき、自動で放送局名を表示させることができます。

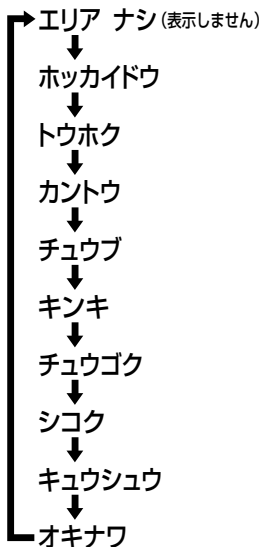
1 SEL を 2 秒以上押す

2 (↑) (または ↓) を数回押して「Station Set」を選ぶ

3 SEL を回してご利用の地域を選ぶ



・右方向に回したときの例です。左方向に回すと、逆逆に選べます。



4 SELボタンを押す

・元のソース(音源)の表示に戻ります。

〈お知らせ〉

- ・地域ごとの「放送局名一覧」は40～43ページをご覧ください。

SELボタンを使って設定を変える(つづき)

表示窓のコントラストを調節する

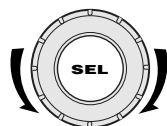
表示窓の表示が見にくいときは、コントラストを調節します。

1 SEL を 2 秒以上押す



2 (☒) (または ☑) を数回押して
「CONTRAST 5」を選ぶ

3 SEL を回してコントラストを
調節する



・「CONTRAST 1～10」の
範囲で調節できます。
運転席から表示窓がよく見
えるように調節します。

下げる
とき 上げる
とき

4 SELボタンを押す

・元のソース(音源)の表示に戻ります。

文字表示のモードを変える(MDのみ)

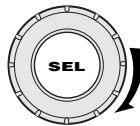
MDの文字表示がスクロール表示されるとき
のモードを変えることができます。

1 SEL を 2 秒以上押す



2 (☒) (または ☑) を数回押して
「SCROLL」を選ぶ

3 SEL を右方向に回してスク
ロールのモードを選ぶ



・左方向に回すと
逆に選べます。



4 SELボタンを押す

・元のソース(音源)の表示に戻ります。

〈お知らせ〉

- ・放送局名は、スクロール表示されません。

CD-CHのソース(音源)を変える

CDチェンジャー端子に他の機器を接続したときは、「LINE INPUT」に切替えます。

1 ソース(音源)を「ラジオ」にする

・ソース(音源)が「CDチェンジャー」のままでは、この操作はできません。

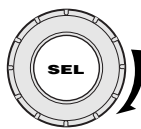
2 SELボタンを2秒以上押す



3 (外部入力) または (入力) を数回押して「EXT INPUT」を選ぶ

エクスターナル インプット

4 SELボタンを右方向に回して「LINE INPUT」にする



・「CD CHANGER」に戻るときは、左方向に回します。

チェンジャー
CD CHANGER : CDチェンジャーをつないだとき
↓
LINE INPUT : 他の機器をつないだとき

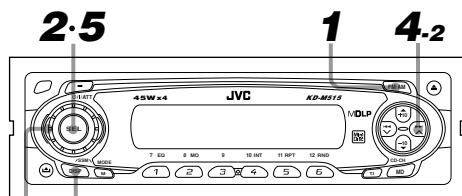
5 SELボタンを押す

・元のソース(音源)の表示に戻ります。

文字の入力のしかた

文字の入力と修正・削除

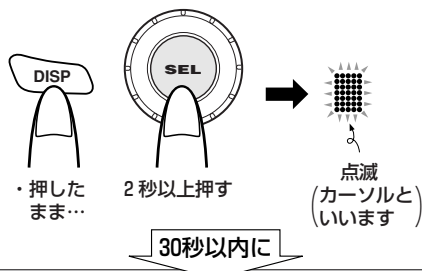
放送局名を32局分、最大10文字まで入力できます。



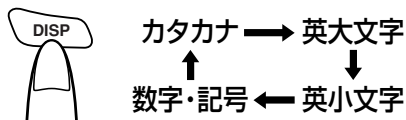
4-1 2-3

1 ソース(音源)を「ラジオ」にする

2 DISP を押したまま SEL を同時に2秒以上押す



3 DISP で文字の種類を選ぶ



・カーソルと文字の種類の手一文字が交互に点滅表示されます。
文字の種類については⑧ページの「文字記列表」をご覧ください。

30秒以内に

4 SEL と <=> で局名を入力する

(4-1と4-2をくり返す)



文字を逆方向に戻す 文字を順方向に進める カーソルを戻すとき

4-1文字を選…

4-2 カーソルを右に移す

・文字を間違えたときは、<<< ボタンでカーソルを戻し回転ボリュームで正しい文字を上書きします。
スペース(空白)を選んで>>> ボタンを押すと、文字を消すこともできます。

5 SEL を押して文字を確定する



・全てスペース(空白)を入力し、確定すると局名を消すことができます。
・局名を入力したあとDISPボタンを1秒以上押したときも、全て消すことができます。
このあとSELボタンを押して確定します。

<お知らせ>

- 33局目の放送局名を入力すると、「NAME FULL」が表示されます。

文字配列表

●カタカナ

ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ
サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ		
ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ヲ	ン		
ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ツ	
ー	。`	ゝ	(空白)						

●英大文字

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	(空白)			

●英小文字

a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
k	l	m	n	o	p	q	r	s	t
u	v	w	x	y	z	(空白)			

●数字・記号

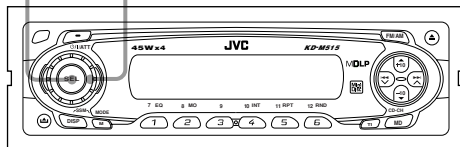
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
!	”	#	\$	%	’	()	*	
+	,	-	.	/	:	;	<	=	>
?	@	_	`	(空白)					

〈お知らせ〉

- 本機は、この「文字配列表」以外の文字・記号は入力できません。
- 入力した放送局名をメーカープリセットの放送局名に戻すときは、リセットボタンを押します。➡44ページ参照
この場合、時計の設定や放送局のメモリー(記憶)などのメモリー内容も取り消されます。もう一度設定をし直してください。
そのあと31ページの「放送局名を自動で表示させる」の操作でご利用の地域を選びます。

音量・音質の調節

1 2



1 SEL を押して調節したい項目を選ぶ



・「ボン・ボン」と押すごとに以下のように変わります。

BAS → TRE → FAD → BAL
 ↑ VOLUME ← LOUD ←

・音量調節(VOLUME)のみのときは、回転ボリュームを直接回して調節します。

5秒以内に

2 SEL を回して音量・音質を調節する



BAS (低音)	低音が減衰する	低音が強調される
TRE (高音)	高音が減衰する	高音が強調される
FAD (フェーダー)	フロントの音量が下がる	リアの音量が下がる
BAL (バランス)	右チャンネルの音量が下がる	左チャンネルの音量が下がる
LOUD (ラウドネス)	ラウドネス OFF	ラウドネス ON
VOLUME (音量)	音量が下がる	音量が上がる

・調節から5秒後に、表示窓は自動で前の表示に戻ります。

●音量・音質の初期設定状態と調節範囲

	初期設定	設定範囲
BAS(低音)	00(フラット)	-06~+06
TRE(高音)	00(フラット)	-06~+06
FAD(フェーダー)	00(センター)	リア R06~フロント F06
BAL(バランス)	00(センター)	リフト L06~ライト R06
LOUD(ラウドネス)	OFF	ON/OFF
VOLUME(音量)	15	00~50

〈お知らせ〉

- ラウドネス「ON」に設定すると、表示窓の「LOUD」表示が「iLOUD」表示に変わります。
小音量時の低音・高音が増強され聞きやすくなります。
- フェーダー調節は、4スピーカー接続のときに限り調節してください。
- 調節したレベルが表示窓に表示されます。

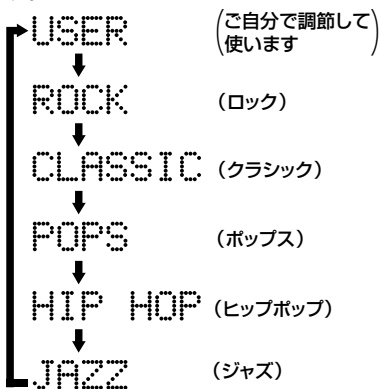
EQボタンで音質を選ぶ



- ・MODEボタンを押したあと…
- ・くり返し押して選びます。
- ・表示窓のMODE表示が消える前に操作します。



EQ(イコライザー)ボタンを使うと、お聞きになる音楽のジャンルに合わせて音質が選べます。



〈お知らせ〉

- 「ROCK～JAZZ」を選ぶと表示窓の「EQ」表示が「EQ」表示に変わります。
- 「USER」は、お買い上げ時フラットな状態になっております。
- 「ROCK」と「HIP HOP」は、お買い上げ時ラウドネス「オン」に設定されております。
- リモコン(RM-RK41J：別売り)で操作するとき



リモコンのSOUNDボタンを押すと、EQパターンが上記の順にダイレクトに選べます。

EQのメモリー内容を変える

EQの各パターンは、お好みの音質に調節しメモリーしておくことができます。

1 ソース(音源)を選ぶ

- ・ラジオまたはCDから選びます。

2 MODE を押したあと EQ でいずれかのEQパターンを選ぶ

- ・「USER～JAZZ」のいずれかが選べます。

3 SEL を押して「BAS」または「TRE」を選ぶ

- ・現在のレベルが表示されます。
- ・ラウドネスを「オン↔オフ」したいときは、「LOUD」を選びます。

4 SEL で音質を調節する



- ・手順3と4をくり返して「BAS」と「TRE」を調節します。

- 調節から5秒後に、表示窓は自動で前の表示に戻ります。調節したレベルが手順2で選んだEQパターンにメモリーされます。

コントロールパネルの着脱

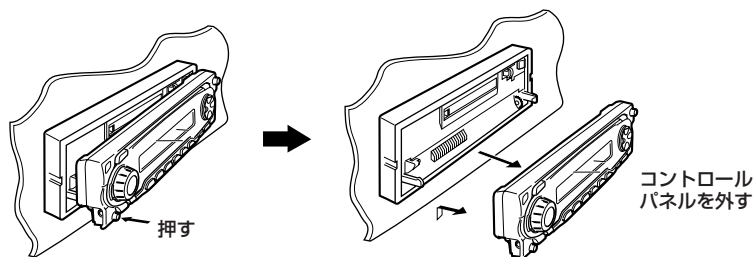
コントロールパネルを外す

1 電源 / ATT ボタンを1秒以上押して電源を「切」にする



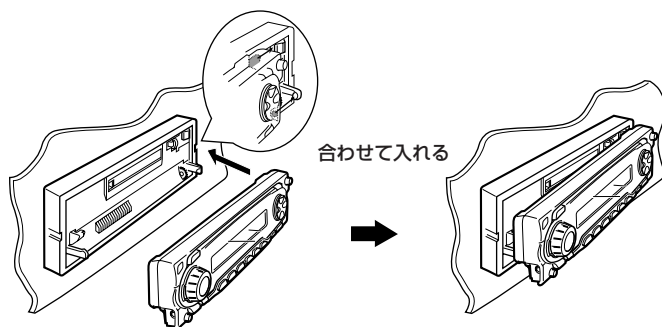
・ 1秒以上押す。

2 凸 (コントロールパネル取り出し) ボタンを押す

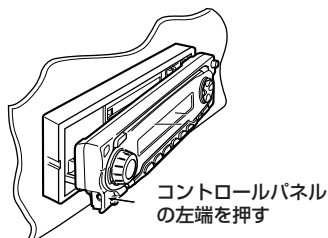


コントロールパネルを取り付ける

1 コントロールパネルの右側を本体に合わせて入れる



2 コントロールパネルの左端を「カチッ」と音がするまで押す



お手入れ

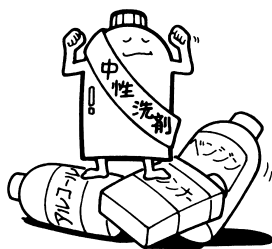
本体の清掃

パネル面が汚れたら柔らかい布などで**からぶ**きしてください。

汚れがひどいときは、水または**中性洗剤**を少し布につけてふき、あとは**からぶ**きしてください。

ご注意

- シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。



放送局名一覧

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
北海道(FM)	AIR-G'	AIR-G'	札幌	80.4MHz
	FMノースウェーブ	FMノースウェーブ	〃	82.5MHz
	NHK-FM	NHK-FM	〃	85.2MHz
	〃	〃	旭川	85.8MHz
	〃	〃	北見	86.0MHz
	〃	〃	函館	87.0MHz
	〃	〃	帯広	87.5MHz
	〃	〃	室蘭	88.0MHz
	〃	〃	釧路	88.5MHz
	〃	〃	〃	〃
北海道(AM)	NHK第1	NHKダイ1	札幌	567kHz
	〃	〃	釧路	585kHz
	〃	〃	帯広	603kHz
	〃	〃	旭川	621kHz
	STVラジオ	STVラジオ	函館	639kHz
	NHK第1	NHKダイ1	〃	675kHz
	NHK第2	NHKダイ2	北見	702kHz
	〃	〃	札幌	747kHz
	HBCラジオ	HBCラジオ	旭川	864kHz
	〃	〃	室蘭	864kHz
	STVラジオ	STVラジオ	釧路	882kHz
	HBCラジオ	HBCラジオ	函館	900kHz
	STVラジオ	STVラジオ	網走	909kHz
	NHK第1	NHKダイ1	室蘭	945kHz
	STVラジオ	STVラジオ	帯広	1,071kHz
	NHK第2	NHKダイ2	室蘭	1,125kHz
	〃	〃	帯広	1,125kHz
	〃	〃	釧路	1,152kHz
	NHK第1	NHKダイ1	北見	1,188kHz
	STVラジオ	STVラジオ	旭川	1,197kHz
HBCラジオ	HBCラジオ	帯広	1,269kHz	
HBCラジオ	HBCラジオ	札幌	1,287kHz	
〃	〃	稚内	1,368kHz	
〃	〃	釧路	1,404kHz	
STVラジオ	STVラジオ	札幌	1,440kHz	
HBCラジオ	HBCラジオ	網走	1,449kHz	
NHK第2	NHKダイ2	函館	1,467kHz	
HBCラジオ	HBCラジオ	名寄	1,494kHz	
NHK第2	NHKダイ2	旭川	1,602kHz	

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
東	FM岩手	FMイワテ	盛岡	76.1MHz
	FM仙台	Date FM	仙台	77.1MHz
	エフエム青森	エフエムアオモリ	青森	80.0MHz
	FM山形	FMヤマガタ	山形	80.4MHz
	ふくしまFM	フクシマFM	郡山	81.8MHz
	NHK-FM	NHK-FM	山形	82.1MHz
	〃	〃	〃	〃
	FM秋田	FMアキタ	秋田	82.8MHz
	NHK-FM	NHK-FM	盛岡	83.1MHz
	〃	〃	福島	85.3MHz
北(FM)	〃	〃	青森	86.0MHz
	〃	〃	秋田	86.7MHz
	NHK第1	NHKダイ1	盛岡	531kHz
	〃	〃	山形	540kHz
	IBC岩手放送	IBCイワテホウソウ	盛岡	684kHz
	NHK第2	NHKダイ2	秋田	774kHz
	NHK第1	NHKダイ1	仙台	891kHz
	山形放送	ヤマガタホウソウ	山形	918kHz
	秋田放送	アキタホウソウ	秋田	936kHz
	NHK第1	NHKダイ1	青森	963kHz
東	NHK第2	NHKダイ2	仙台	1,089kHz
	青森放送	アオモリホウソウ	青森	1,233kHz
	東北放送	トウホクホウソウ	仙台	1,260kHz
	NHK第1	NHKダイ1	福島	1,323kHz
	NHK第2	NHKダイ2	盛岡	1,386kHz
	ラジオ福島	ラジオフクシマ	福島	1,458kHz
	NHK第1	NHKダイ1	秋田	1,503kHz
	NHK第2	NHKダイ2	山形	1,521kHz
	AFN	AFN	三沢	1,575kHz
	NHK第2	NHKダイ2	福島	1,602kHz
北(AM)	NHK第1	NHKダイ1	福島	1,323kHz
	NHK第2	NHKダイ2	盛岡	1,386kHz
	ラジオ福島	ラジオフクシマ	福島	1,458kHz
	NHK第1	NHKダイ1	秋田	1,503kHz
	NHK第2	NHKダイ2	山形	1,521kHz
	AFN	AFN	三沢	1,575kHz
	NHK第2	NHKダイ2	福島	1,602kHz
	インター FM	インターFM	東京	76.1MHz
	FM 栃木	レディオ・ベリー	宇都宮	76.4MHz
	放送大学	ホウソウダイガク	東京	77.1MHz
BAY-FM	BAY-FM	船橋	78.0MHz	
FM-FUJI	FM-FUJI	三ツ峠	78.6MHz	
関東地方(FM)	放送大学	ホウソウダイガク	前橋	78.8MHz
	NACK 5	NACK 5	さいたま	79.5MHz
	TOKYO FM	TOKYO FM	東京	80.0MHz
	NHK-FM	NHK-FM	宇都宮	80.3MHz
	〃	〃	千葉	80.7MHz
	〃	〃	〃	〃

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
関東地方(FM)	J-WAVE	J-WAVE	東京	81.3MHz
	NHK-FM	NHK-FM	前橋	81.6MHz
	〃	〃	横浜	81.9MHz
	〃	〃	東京	82.5MHz
	〃	〃	水戸	83.2MHz
	FMヨコハマ	FMヨコハマ	横浜	84.7MHz
関東地方(FM)	NHK-FM FM群馬	NHK-FM FMグンマ	さいたま 前橋	85.1MHz 86.3MHz
	関東地方(AM)	NHK第1	NHKダイ1	東京
NHK第2		NHKダイ2	〃	693kHz
AFN		AFN	〃	810kHz
TBSラジオ		TBSラジオ	〃	954kHz
文化放送		ブンカホウソウ	〃	1,134kHz
茨城放送		イバラキホウソウ	水戸	1,197kHz
ニッポン放送		ニッポンホウソウ	東京	1,242kHz
ラジオ日本 栃木放送		ラジオニッポン トチギホウソウ	横浜 宇都宮	1,422kHz 1,530kHz
中部地方(FM)	FM福井	FMフクイ	福井	76.1MHz
	FM新潟	FMニイガタ	新潟	77.5MHz
	ZIP FM	ZIP FM	名古屋	77.8MHz
	新潟県民エフエム	FM Port	新潟	79.0MHz
	K-MIX	K-MIX	静岡	79.2MHz
	RADIO-i	RADIO-i	名古屋	79.5MHz
	FM長野	FM ナガノ	美ヶ原	79.7MHz
	岐阜FM	ギフ FM	高山	80.0MHz
	FM石川	FM イシカワ	金沢	80.5MHz
	中部地方(FM)	FM AICHI	FMA	名古屋
NHK-FM		NHK-FM	富山	81.5MHz
〃		〃	金沢	82.2MHz
〃		〃	新潟	82.3MHz
〃		〃	名古屋	82.5MHz
FMとやま		FMトヤマ	富山	82.7MHz
FM-FUJI		FM-FUJI	坊ヶ峰	83.0MHz
NHK-FM		NHK-FM	福井	83.4MHz
〃		〃	岐阜	83.6MHz
〃		〃	長野	84.0MHz
〃	〃	甲府	85.6MHz	
〃	〃	静岡	88.8MHz	

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
中部地方(AM)	NHK第2	NHKダイ2	静岡	639kHz
	NHK第1	NHKダイ1	富山	648kHz
	〃	〃	名古屋	729kHz
	北日本放送	キタニホンホウソウ	富山	738kHz
	YBSラジオ	YBSラジオ	甲府	765kHz
	NHK第1	NHKダイ1	長野	819kHz
	NHK第1	NHKダイ1	新潟	837kHz
	福井放送	フクイホウソウ	福井	864kHz
	NHK第1	NHKダイ1	静岡	882kHz
	NHK第2	NHKダイ2	名古屋	909kHz
中部地方(AM)	NHK第1	NHKダイ1	福井	927kHz
	〃	〃	甲府	927kHz
	NHK第2	NHKダイ2	富山	1,035kHz
	CBCラジオ	CBCラジオ	名古屋	1,053kHz
	信越放送	シンエツホウソウ	長野	1,098kHz
	北陸放送	ホクリクホウソウ	金沢	1,107kHz
	新潟放送	ニイガタホウソウ	新潟	1,116kHz
	NHK第1	NHKダイ1	金沢	1,224kHz
	東海ラジオ	トウカイラジオ	名古屋	1,332kHz
	NHK第2	NHKダイ2	金沢	1,386kHz
近畿地方(FM)	静岡放送	シズオカホウソウ	静岡	1,404kHz
	岐阜ラジオ	ギフラジオ	岐阜	1,431kHz
	NHK第2	NHKダイ2	長野	1,467kHz
	〃	〃	福井	1,521kHz
	〃	〃	新潟	1,593kHz
	〃	〃	甲府	1,602kHz
	FM CO・CO・LO	CO・CO・LO	生駒山	76.5MHz
	E-Radio	E-Radio	滋賀	77.0MHz
	Kiss-FM KOBE	Kiss-FM	姫路	77.6MHz
	FM三重	FM ミエ	津	78.9MHz
FM 802	FM 802	大阪	80.2MHz	
近畿地方(FM)	NHK-FM	NHK-FM	津	81.8MHz
	〃	〃	京都	82.8MHz
	〃	〃	大津	84.0MHz
	〃	〃	和歌山	84.7MHz
	FM大阪	fm osaka	大阪	85.1MHz
	NHK-FM	NHK-FM	神戸	86.5MHz
	〃	〃	奈良	87.4MHz
	〃	〃	大阪	88.1MHz
	FM京都	α-STATION	京都	89.4MHz
	Kiss-FM KOBE	Kiss-FM	神戸	89.9MHz

放送局名一覧(つづき)

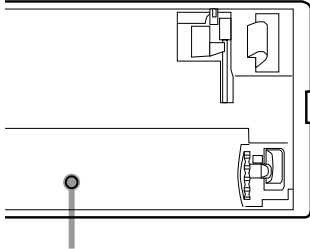
	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数				
近畿地方(AM)	AM KOBE NHK第1 ◇ NHK第2 ABCラジオ KBS京都	AM KOBE NHKダイ1 ◇ NHKダイ2 ABCラジオ KBSキョウト	神戸 京都 大阪 大阪 ◇ 京都	558kHz 621kHz 666kHz 828kHz 1,008kHz 1,143kHz				
	MBSラジオ ラジオ大阪 和歌山放送	MBSラジオ ラジオオオサカ ワカヤマホウソウ	大阪 ◇ 和歌山	1,179kHz 1,314kHz 1,431kHz				
	中国地方(FM)	岡山エフエム放送 エフエム山陰 広島FM FM山口 NHK-FM ◇ ◇ エフエム山陰 NHK-FM ◇	FMオカヤマ エフエムサンイン ヒロシマFM FMヤマグチ NHK-FM ◇ ◇ エフエムサンイン NHK-FM ◇	岡山 松江 広島 山口 松江 山口 ◇ 鳥取 浜田 広島 岡山	76.8MHz 77.4MHz 78.2MHz 79.2MHz 84.5MHz 85.3MHz ◇ 85.8MHz 86.6MHz 88.3MHz 88.7MHz			
		中国地方(AM)	NHK第1 ◇ NHK第2 山口放送 山陰放送 NHK第1	NHKダイ1 ◇ NHKダイ2 ヤマグチホウソウ サンインホウソウ NHKダイ1	岡山 山口 ◇ 広島 徳山 米子 下関	603kHz 675kHz 702kHz 765kHz 900kHz 1,026kHz		
			中国地方(AM)	NHK第1 NHK第2 NHK第1 中国放送 NHK第1	NHKダイ1 NHKダイ2 NHKダイ1 チュウゴクホウソウ NHKダイ1	広島 鳥取 松江 広島 鳥取	1,071kHz 1,125kHz 1,296kHz 1,350kHz 1,368kHz	
				中国地方(FM)	NHK第2 ◇ 山陽放送 AFN NHK第2	NHKダイ2 ◇ サンヨウホウソウ AFN NHKダイ2	山口 岡山 岡山 山口 松江	1,377kHz 1,386kHz 1,494kHz 1,575kHz 1,593kHz
四国地方(FM)					FM香川 FM愛媛 FM徳島 FM高知 NHK-FM	FMカガワ FMエヒメ FMトクシマ FMコウチ NHK-FM	高松 松山 徳島 高知 徳島	78.6MHz 79.7MHz 80.7MHz 81.6MHz 83.4MHz

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数			
四国地方(FM)	NHK-FM ◇ ◇	NHK-FM ◇ ◇	高松 高知 松山	86.0MHz 87.5MHz 87.7MHz			
	四国地方(AM)	高知放送 NHK第1 ◇ ◇ NHK第2 南海放送	コウチホウソウ NHKダイ1 ◇ ◇ NHKダイ2 ナンカイホウソウ	高知 徳島 松山 高知 高松 松山	900kHz 945kHz 963kHz 990kHz 1,035kHz 1,116kHz		
		九州地方(AM)	NHK第2 四国放送 NHK第1 西日本放送 NHK第2	NHKダイ2 シコクホウソウ NHKダイ1 ニシホンホウソウ NHKダイ2	高松 徳島 高松 ◇ 松山	1,152kHz 1,269kHz 1,368kHz 1,449kHz 1,512kHz	
九州地方(FM)			Love FM FM中九州 ◇ ◇ FM佐賀 CROSS FM SMILE-FM FM鹿児島 FM福岡	Love FM FMナカキュウシュウ ◇ ◇ FMサガ CROSS FM SMILE-FM FMカゴシマ FMフクオカ	福岡 熊本 ◇ ◇ 佐賀 福岡 長崎 鹿児島 福岡	76.1MHz 77.4MHz ◇ ◇ 77.9MHz 78.7MHz 79.5MHz 79.8MHz 80.7MHz	
			九州地方(FM)	NHK-FM FM宮崎 NHK-FM ◇ ◇ ◇ ◇ FM大分 NHK-FM	NHK-FM FMミヤザキ NHK-FM ◇ ◇ ◇ ◇ FMオオイタ NHK-FM	佐賀 宮崎 長崎 福岡 熊本 ◇ ◇ ◇ ◇ 大分 ◇	81.6MHz 83.2MHz 84.5MHz 84.8MHz 85.4MHz ◇ ◇ ◇ ◇ 88.0MHz 88.9MHz
				九州地方(AM)	NHK第1 ◇ ◇ ◇ ◇ NHK第1 ◇ ◇ ◇ NHK第2	NHKダイ1 ◇ ◇ ◇ ◇ NHKダイ1 ◇ ◇ ◇ NHKダイ2	鹿児島 北九州 佐世保 宮崎 大分 ◇ 宮崎 鹿児島 福岡 大分 長崎 熊本 熊本

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
九州 地方(A・M)	宮崎放送	ミヤザキホウソウ	宮崎	936kHz
	NHK第1	NHKダイ1	佐賀	963kHz
	NHK第2	NHKダイ2	福岡	1,017kHz
	大分放送	オオイタホウソウ	大分	1,098kHz
	南日本放送	ミナミニホウソウ	隼人	1,107kHz
	熊本放送	クマモトホウソウ	熊本	1,197kHz
	長崎放送	ナガサキホウソウ	長崎	1,233kHz
	RKBラジオ	RKBラジオ	福岡	1,278kHz
	NHK第2	NHKダイ2	長崎	1,377kHz
	◇	◇	鹿児島	1,386kHz
	KBCラジオ	KBCラジオ	福岡	1,413kHz
	NHK第2	NHKダイ2	大分	1,467kHz
	◇	◇	宮崎	1,467kHz
	AFN	AFN	佐世保	1,575kHz
沖縄(F・M)	FM 沖縄	FM オキナワ	那覇	87.3MHz
	NHK-FM	NHK-FM	沖縄	88.1MHz
	AFN-沖縄	FM AFN	◇	89.1MHz
沖縄(A・M)	NHK第1	NHKダイ1	沖縄	549kHz
	AFN	AFN	◇	648kHz
	琉球放送	リュウキュウホウソウ	那覇	738kHz
	ラジオ沖縄	ラジオオキナワ	◇	864kHz
	NHK第2	NHKダイ2	◇	1,125kHz

故障かな?と思う前に

—おや?故障かな?と思ったら…修理を依頼される前にもう一度お確かめください。—

症 状	原 因 ・ 処 置
<p>どのボタンを押しても正しく動作しない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 雑音などの影響で内蔵のマイコンが誤動作している。 → コントロールパネルを外し(⇒88ページ参照)、ボールペンなどで軽くリセットボタンを押す。  <p>リセットボタン</p> <p>(時計の設定や放送局などのメモリー内容が取り消され、お買い上げの状態に戻ります)</p>
<p>電源を切っても「ATT」表示が点滅する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● φ/I(電源)/ATTボタンを「SEE YOU」が表示されるまで…1秒以上…押す。
<p>電源が入らない。 (DISPボタンを押すと)時計は表示される</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源(ACCライン)のコードが接続されていないため。 ● 車のエンジンキーが「OFF」またはACC「OFF」のため。 →12ページ参照
<p>MDの取り出しができない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 盗難防止状態になっている。 →MDボタンを押したままφ/I(電源)/ATTボタンを同時に2秒以上押す。→21ページ参照
<p>MDを入れても音が出ない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 音量を適度に調節する。 ● 内部のレンズが結露(つゆつき)している。 →ラジオを聞くなどして1~2時間待つ。
<p>MDが入らない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● MDが裏返しになっている。 →ラベル面を上にして、⇨や△の表示に従って正しく入れる。
<p>MDの演奏が始まらない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● MDの読み取りでエラーが発生したため。 →△(MD取出し)ボタンを押したあとMDを入れ直す。または他のMDを入れ直して本機が異常でないか確かめる。

症 状	原 因 ・ 処 置
<p>放送がうまく受信できない。 雑音が多くて聞きにくい。 AMラジオが受信できない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● アンテナの接続を確かめる。またはアンテナが十分に伸びているか確かめる。 ● オートアンテナコントロール端子(またはアンテナブラスター電源端子)に本機の「アンテナコントロール電源」コードを正しく接続する。 ● 放送局の周波数に正しく合わせる。 ● 携帯電話などを本機から離す。
<p>MDの出し入れのとき音が途切れる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● MDの出し入れのときは、音声にミュートングをかけて雑音の発生を防いでいるため故障ではありません。

こんな表示のときは

表 示	原 因 ・ 処 置
<p>NO DISC</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● MDが入っていないときMD/CD-CHボタンを押したため。 →MDを入れる。
<p>HIGH TEMP</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機の内部の温度が異常に高くなっている。 →▲(MD取出し)ボタンを押したあとラジオに切換えて温度が下がるのを待つ。
<p>NO PRE ADJ.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 雑音などの影響でプリセットデータに異常が発生している。 →お買い上げの販売店にご連絡ください。
<p>EJECT ERR</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● MDの取り出しができなかったとき。 →MD挿入口の障害物を取り除き▲(ディスク取出し)ボタンを押す。
<p>● CDチェンジャー</p>	
<p>RESET 8</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● CDチェンジャーとの通信エラーが発生したため。 →CDチェンジャーとの接続コードを確認する。
<p>RESET <small>数字</small> ○</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● CDチェンジャー本体にエラーが発生したため。 →CDチェンジャーの取扱説明書の「エラーコードについて」をご覧ください。

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間
お買い上げの日から1年間

補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後6年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、お買い上げ販売店または別紙の「JVCカーオーディオ製品サービス窓口案内」をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

持込修理

44～45ページの「故障かな？と思う前に」に従ってお調べください。それでもなお正しく動作しないときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したMDなどのメディアも、一緒にご持参ください。

保証期間は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

便利メモ	お買い上げ日	
	お買い上げ店名	☎() -

〈お知らせ〉

- 本機の故障や不具合等により、利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

主な仕様

●本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

MDプレーヤー部

- 型 式：ミニディスクデジタルオーディオシステム
- 再生時間：再生モードSP：80分
(MD80使用時) LP2：160分
LP4：320分
- チャンネル数：2チャンネル・ステレオ
- 周波数特性：20Hz～20kHz
- ダイナミックレンジ：92dB
- S N 比：93dB

チューナー部

- アンテナ端子：外部FM/AM兼用アンテナコネクター×1
(JASOプラグ仕様)
- FMチューナー部
 - 受信周波数：76.0MHz～90.0MHz
 - 実用感度：14.3dBf(1.43 μ V/75 Ω)
- AMチューナー部
 - 受信周波数：522kHz～1,629kHz
 - 実用感度：27dB μ (22.4 μ V)

オーディオアンプ部

- 最大出力：フロント 45W+45W
(4 Ω 、1kHz)
リア 45W+45W
(4 Ω 、1kHz)
- 適合インピーダンス：4 Ω (4 Ω ～8 Ω で使用可能)
- 入力端子：DINジャック×1
- 出力端子：LINE OUT(1系統)、
2.0V/1k Ω

電源部・その他

- 電源電圧：DC14.4V(11V～16Vで使用可能)
マイナスアース専用
- 取付寸法：幅178mm×高さ50mm×奥行150mm
- 外形寸法：幅178mm×高さ50mm×奥行167mm
- 質 量：約1.2kg(付属品含まず)
- 本機は、ドルビーラポラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

付属品

- ・接続コード(16ピンコネクター)…………… 1
- ・ネジ(M5×6mm)…………… 4
- ・皿ネジ(M5×6mm)…………… 4

別売りのオプション品

- ・MDレンズクリーナー：CL-ML
- ・RCA PIN コード：CN-505E(長さ0.5m)
CN-510E(長さ1m)
CN-520E(長さ2m)
- ・変換コード：KS-U57
- ・リモコン：RM-RK41J

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに
関するご相談

お買い物相談や製品についての全般的なご相談
JVCカーオーディオお客様ご相談センター

別紙の
「JVCカーオーディオ製品サービス窓口案内」
をご覧ください。

F 0120-977-846 (フリーコール)
FAX(027)254-8927

受付時間 10:00~18:00

(土、日、祝日、当社休日を除く)

〒371-8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1

ビクターインターネットホームページアドレス <http://www.jvc-victor.co.jp/>

カーAV機器ホームページアドレス <http://www.jvc-victor.co.jp/car/>

JVC

MANUFACTURED BY VICTOR COMPANY OF JAPAN, LIMITED

日本ビクター株式会社

AV&マルチメディアカンパニー

〒221-8528 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12